

高知県立林業大学校



住所 / 香美市土佐山田町大平80
高知県森林総合センター内
TEL / 0887・52・0784
<https://kochi-forestry.ac.jp/>

高知県の林業を担う人材を育てることを目的として開校。校長を務めるのは、東京オリンピック・パラリンピックのメインスタジアムとなった国立競技場など、数多くの建築物の設計に携わった世界的建築家の隈研吾氏。現在、学生の約3割は県外出身者。基礎課程では1年後、就職か専攻課程に進むかを選択可能。



画像提供協力: 高知県立林業大学校

この日の取材の様子はこちらから
[YouTubeチャンネル](#)
[森林環境情報誌 もりりん](#)



ココが魅力!

- 1 全国唯一の「全天候対応実習棟」
- 2 1年間で林業に必要な12の資格を取得
- 3 就職率:99%以上
- 4 授業料:年間約13万円
- 5 高知県からの給付金:年間最大165万円



PR担当 福山先生

【基礎課程】

林業分野に必要な12の修了証が取得できる特別教育・技能講習。

【専攻課程】

森林管理、林業技術、木造設計の3コース。より高度な専門技術を習得。

【短期課程】

社会人でも短期間で学べるリカレントコース。



峯本先生の熱心な指導を受ける的場さん。



切る位置で大きく差が出る買取価格。造材作業は慎重に。



チェーンソーを上手に操る山本優喜さん。伐倒した木の枝と梢を落とします。



活躍する高性能林業機械たち

高性能林業機械とは、従来のチェーンソーや刈払機等の機械に比べて、作業の効率化、身体への負担の軽減等、性能が著しく高い林業機械です。現場では、それぞれに適した機械が使用されます。



フォワーダ[運材]



ハーベスタ[伐倒・造材]



プロセッサ[造材]



スイングヤーダ[集材]



タワーヤーダ[集材]



ウインチ付きグラップル[集材]



森の技術を学ぶ 高知県立林業大学校に潜へ!

壮大な森を相手に 林業を学ぶ

2021年9月、基礎課程を学ぶ学生による間伐実習に同行しました。



校舎は香美市土佐山田町にある高知県森林総合センター内にあります。鮮やかな色の作業服と保護員に身を包んだ学生23名と先生方がマイクロバスに乗り込み、出発しました。約1時間後、西又地区にある約70ヘクタールの演習林に到着。標高約1000メートルの山の中の空気はひんやりとして、澄み切っています。バスを降りて、整列。実習のスタートです。

チームプレーで事故ゼロへ

最初におこなわれたのは、KY(危険予知)活動という、作業を安全におこなうための危険性の予想です。ヒヤリ・ハット報告書をそれぞれが手にし、「ヒヤリ」「ハット」とした経験を情報共有しながら、リスクを減らす対策を考えます。「こうして10分話し合っただけで、作業中も危険を意識して行動できます。」と福山先生は話します。



その後、木を伐り、一定の長さの丸太にする作業を開始します。6名ごとの4班に分かれ、それぞれ1名の先生が引率。常に先生の目が届く範囲で行動します。伐木は、重量と高さのある立木を倒す作業です。単純に先輩の見よう見まねでやってみれば、自分だけでなく仲間も危険にさらすことになりかねません。そのため、現場では、常に周囲に注意を払い、仲間同士で声をかけあうなどのコミュニケーションを欠かしません。

進化しつづける林業機械たち

近年、林業で使用する機械は非常に性能が向上しています。例えば、ハーベスタは、1つの機械で木を切り倒す・枝を払う・切る・運ぶまで行うことができます。高性能林業機械の導入により、現場での作業負担が軽くなり、安全性が向上しています。

この学校では、昔ながらのキツイ山仕事というイメージの林業から、IT技術などの最先端技術を活用した新しい林業へと意識を改革。学生たちは、林業の基本はもちろん、先進機械について、しっかりと学びます。

魅力的に変わりゆく林業



「繊細な機械の操縦は、女性の方が上手かもしれない。」と話す福山先生の視線の先には、的場美都樹さん。実際の作業を体感できるフィールドワークの授業が好き。毎日がとても充実しています。「と、目を輝かせる岡山県出身の彼女は、森林保全ボランティアに参加していた両親の影響もあり、幼い頃から森に興味があったといいます。島根大学の森林学教育コースに進学して知識を学ぶうち、しだいに、実際の現場に興味があつてきました。卒業後は、就職前のワンクッションとして、実践重視で学べるこの学校への入学を選択。現在、着実に経験を積み、日々、技術を育んでいます。

これまで、男性が働く職場のイメージが強い林業ですが、今後は的場さんのように女性の活躍が期待されます。ここで学ぶ学生たちにとって、入学のきっかけはそれぞれ異なっていますが、いつか森にかかわる仕事につきたいという思いは同じ。こうして、高知県立林業大学校から、毎年、将来の林業を担う人材が生まれています。

※林業大学校 / 年間を通じて1,200時間以上の履修時間を設けている。道府県などが運営する1~2年制の専修学校や研修機関。全国に21校ある(2021年4月時点、林野庁調べ)。